

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

諸派(一人で活動)

ごみ袋の購入見直し問題

町田市のごみ行政の課題の一つに、ごみ袋の問題があります。「(カラス対策に有効とする)可燃ごみ袋が果たして効果があるのか」、あるいは「行政のごみ袋の購入価格が高すぎる」として、以前からたびたび議会の内外でも話題になってきました。本来は、昨年度の決算委員会とその審議結果を受けての本会議に置いて、この問題に決着がつくべきはずでした。しかし、委員会の採決段階で反対多数で決算を認定しないとすることで、個別の議会意見が本会議に取り上げられない結果になりました。最後は、逆転して決算自体が認定(賛成多数)と行政の立場を利したのみの結果となりました。



行政は往々にして、自分たちに都合がよい部分(「決算」が本会議で最終的に認定された事実)のみを取り入れ、議論で本来決着を見た部分は無視するかもしれません。議員の役割と言うのは、何度も議会の会議で話題にし、最終的に行政のやり方を見直しさせることでしょう。まさに、このごみ袋の種類、購入価格を問う抗争自体が、そのやり取りと言えます。この件はそのまま住民生活の向上に直結するものだとも思っています。

緑地保存の請願不採択(=否決)

「くじら山の環境保全を求める請願」を町田市議会は不採択(否決と同様の意味)としました。中心市街地にも近い住宅街に隣接した場所に緑に覆われて小山状の形態をしたエリアがあり、通称「くじら山」と称せられていました。その「くじら山」の緑や水路の保全を求めた請願が市議会に出され、論議は伯仲して議会の賛否は同数に近い状況でした。

一般論で言えば、行政の構想ではこのエリアは緑地として示されており、開発が進められて住宅地や道路になってしまうのを認めるべきではないと言う主張があっても当然でした。

私は本会議の最終討論において、「この場所は旧来から民有地であり住宅開発の計画はすでに一定の進展を見せている。本来で言うと行政にその開発を規制して止める法的な手段はなく、もし、それを止めるとすると町田市の財政から支出して、行政がその土地を購入する方法がある。しかし、行政がその土地を購入する意図は皆無である。現状は、行政は住宅開発業者を悪者に表現しているに過ぎないようにしか見えない。こうした行政の無責任な対応が事態を混乱させている」と主張し、請願には反対する立場を取りました。採決の結果、不採択(否決と同じ意味)となりました。(参考写真:市民病院より市内遠望)



★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ(市議会議員)

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修生レポート ⑩ 金田有里恵

町田新産業創造センターに入居している、FIXA の渡邊さんと面談させていただきました。社長を含め 3 人で経営している、小さな会社です。スマートフォンのアプリを主に作成していて、中でも釣りの記録を残すアプリに力を入れているそうです。釣り好きなユーザーは釣った魚を自慢したり記録したりしたいけれど、記憶の曖昧になりやすい分野らしく、そういった問題を解決するために開発しているらしいです。会社を立ち上げたそもそものきっかけが、渡邊さんと社長さんの大学時代の口約束だったと聞き、驚きました。学生時代の口約束というものは実現しないのが世の常だと思っていた私にとって、衝撃的だったのです。



(写真注：渡邊さんの手の部分が黄色く見えますが、ビジネスカフェ天井の照明の関係です)

私自身、以前大学でプレゼンテーションのスキルを身につける講義を受講した際、スマートフォン用のアプリを商品化するデモンストレーションを行った経験があります。当時、

アプリを無料にしてユーザーを増やし、且つ会社の利益を守るために、私たちは画面の下部に広告を入れるという結論に至りました。そこで今回の面談の中で、私はこの会社のアプリが無料なのか尋ねました。渡邊さんは無料であると回答し、広告についてもお話ししてくださいました。広告を入れるということは利益を得られるものの、アプリ自体をけがすことになるという考えらしいです。素人の私だったら安易に広告を入れてしまうところですが、さすが職業にしている方は自らの商品に誇りを持っているのだと強く感じました。

今回の面談で、職業や会社、夢や利益について深く考えさせられました。どこまで夢を追いかけるのか、どれほど誇りを持つのか、将来を見据えて今何をすべきなのか。もちろん答えはひとつではありませんし、もしかすると無限かもしれません。学生時代の口約束を実現させた、この会社の未来が気になります。(第 33 期研修生 金田有里恵

フェリス女学院大学 1 年生)

(以下、吉田つとむのコメントです) 町田市が作ったインキュベート施設である「町田新産業創造センター」に入居する、FIXA さんを訪問し、取締役最高技術責任者の渡邊様に対応していただきました。

私の第 1 期インターン生の 1 人(出雲 充さん)が起業して、独創的な取り組みを行い、成長する企業に仕上げるプロセスをたどっています。もちろん、決して順調でなく、大きな苦節もあつての成長です。そうしたイメージとだぶらせながら、今回の訪問でした。

是非、FIXA さんが成長して大きな自立した企業になってもらいたいと思います。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp